

日々のマスク生活のなかで気づいたのは、表情が見えづらいということ。「目は口ほどにものを言う」というけれども、目だけではない、口回りも含めた顔全体が「表情」なんですね。マスクをしているときは、いつもよりゆっくりと話したり、相手の反応にももっと気を配って、しっかりとおはなしを届けたいと思います。ソーシャルディスタンスはもちろん、フェイスシールドや透明マスクなどを活用して、安全に楽しく活動していきたいと思っています。

こんなときだからこそ、心の栄養になるようなよい本を紹介したい、そんな想いを込めて私号をお届けします。

おすすめのおはなし



風の神と子ども

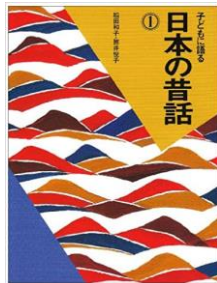
新潟県の山古志村に伝わる昔話。

ある秋の日、村の子どもたちが遊んでいるところへ、見たこともない男がやってきた。男は、しっぽのように長いものに子どもたちをのせて、天に舞い上がり、柿や梨のたくさん実っているところへおろしてくれる。

この男は気まぐれな南風だった。南風は、夕方になるとまた急にどこかへ行ってしまう。

残された子どもたちが灯りを頼りにたどり着いた家は…。

不思議な印象を残す
情緒あふれる日本の昔話。



子どもに語る日本の昔話①
こぐま社



おすすめの絵本

木はいいなあ

縦長で開くと正方形の絵本。

木がある生活がどんなにいいか、そのすばらしさを描いています。

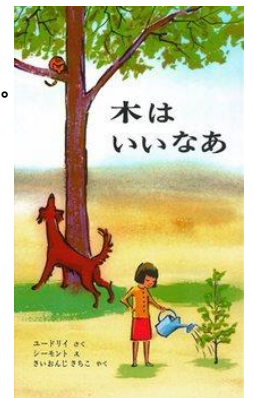
木がたくさんはえると森になり、森はいつもいきいきしている。

秋になって葉っぱが落ちると、落ち葉で色んな遊びができる。

落ち葉を集めて焚き火もできる。

それから、それから…。
自分たちの身近にある木
改めて木はいいなあと思える。

ジャニス=メイ=ユードリイ作
マーク=シーモント絵
さいおんじさちこ訳
偕成社



なぞなぞ ことば遊びの楽しさ

こどもたちは、なぞなぞが大好きです。

なぞなぞは、言葉を使った遊びなので、どこでもできます。答えを見つけるまで、自分の中の知識や経験を総動員して考えます。答えも一つではありません。遊びながら、発想力やひらめきも鍛えられますよ。大人も子どもも一緒に楽しんでみませんか？

世界で一番古いといわれるなぞなぞ「建物がある。

そこに入るとき、人は目を閉じている。

そこから出るとき、人の目はあいている」



答え：学校

今夏 おはなし会で語ったおはなし
アナンシと五、あなのはなし、おいとけ堀、さるの
生き胆、ふたりのケーキづくり、ヤギとライオン

図書館大きな子のおはなし会

毎月第1土曜日 午前10時30分～
(30分程度)

おはなしのへやにて

内容：ストーリーテリングと絵本など
※予約はいりません。お気軽にご参加ください
ただし図書館が休館のときはありません

～想像の翼を大きく広げて～

耳から聞くおはなしの楽しさを多くの人に届けます。興味のある方はぜひ一度聴いてみてください。また、ご希望の場所に出かけて、おはなしを語ることも可能です。お気軽にご相談ください。

【おはなし会のお問い合わせ】
西脇市図書館（電話0795-23-5991）
パルランド 丸山（電話090-8930-0921）

パルランド通信は「パルランド」が発行しています。

